

愛媛県宇和島市戸島で採集されたムラサキダコ *Tremoctopus violaceus gracialis* (Eydoux and Souleyet, 1852)

水野 晃秀

2001年7月1日、愛媛県宇和島市戸島美砂子(びしゃご)沿岸域の表層において、タモ網によりムラサキダコ *Tremoctopus violaceus gracialis* が1個体採集された(写真1)。本種の特徴としては、体が筋肉質で、外套膜は釣り鐘状、外套開口は広く、背側に1対の水孔があること、体の背面は濃い紫色で、腹面は銀白色であること、雌が雄より非常に大型になることなどがあげられる(窪寺, 2000)。

我が国では太平洋、日本海側の暖海域の表中層を浮遊し、ときに大群をなすこともあるとされる(窪寺, 2000)。愛媛県における本種の分布に関し

ては、宇和海沿岸において森川(1955)が目録的に報告した記録があるのみで、近年の報告は見当たらない(稲葉, 1983; 愛媛県立博物館, 1990)。したがって、本報は、本種の標本に基づく本県からの初めての記録となる。今回得られた標本は、外套長61.0mm、全長347.5mmで、交接腕はなく、左右第1・2腕は長大で広い遊泳膜でつながっていること、および先述した形態的特徴をすべて備えていたことでムラサキダコの雌個体であると同定された。

本個体は現場海域表層を衰弱した状態で浮遊し



写真1 ムラサキダコ *Tremoctopus violaceus gracialis* (全長 347.5mm)

ているところを発見，採集された．採集した漁業者の話によると，現地ではじめて見る種類であり，イカであるのかタコであるのか判断がつかなかったとのことである（片桐，私信）．

宇和海における本種の分布の詳細について定かではないが，これまでに知られている分布域内であること（窪寺，2000），森川（1955）により同じ宇和海に面した明浜町俵津で記録されていることから，本海域に自然分布しているものと思われる．なお，採集標本は大阪市立自然史博物館軟体動物資料として登録，保管される予定である．

稿を終えるにあたり，御校閲頂いた愛媛県魚病指導センターの清水孝昭氏と，採集したムラサキダコを提供していただき，採集時の情報を頂いた宇和島市戸島の片桐直樹氏に対し謹んで感謝の意を表する．

引用文献

- 愛媛県立博物館．1990．自然科学普及シリーズ 10 愛媛の海岸動物．松山，66 pp.
- 窪寺恒己．2000．ムラサキダコ科．奥谷喬司編著，日本近海産貝類図鑑．東海大学出版会，東京．1086-1087.
- 森川国康．1955．海岸動物目録 2 愛媛県産軟体動物目録．愛媛大学教育学部生物研究会，22 pp.（謄写印刷）．
- 稲葉明彦．1983．増補改訂 瀬戸内海の生物相 I（軟体動物）．広島大学理学部付属向島臨海実験所，広島，182 pp.
- （みずの こうき 〒 798-0068 宇和島市明倫町 1-39 愛媛県立宇和島水産高等学校）